



映像でナットク！

家庭教育学級

親の学びナビ

スタート！

家庭教育学級には
どんなやり方があるの？

家庭教育学級、
年間計画どうつくる？



家庭教育学級の方法

- 講演会型
- 井戸端会議型
(フリートーク)
- 体験学習型
- シンポジウム型
- ワークショップ型

● 学びのためのお役立ちリンク集

年間計画の作成

- 系統立ったプログラムについて

教えて！先輩！

学びの現場から

- 家庭教育学級委員の声
- 公民館担当者の声

● 平成24年度 学習プログラム実践事業

- **講演会型**
- 井戸端会議(フリートーク)型
- 体験学習型
- シンポジウム型
- ワークショップ型



講師が一定のテーマで講義して述べる形式が「**講演会型**」です。

テーマに適した講師を依頼し、専門的な話をしてもらうなど、課題に応じた学びの場をつくりましょう。

市町村の家庭教育担当者や学校(園)に相談し、テーマに適した講師を選定し、また保護者が参加しやすい開催時間・場所を設定しましょう。

メニュー

MENU

に戻る



- 講演会型
- 井戸端会議(フリートーク)型
- 体験学習型
- シンポジウム型
- ワークショップ型



一定のテーマについて
少人数で話し合う形式が
「**井戸端会議(フリートーク)型**」
です。話をすることによって
悩みや不安を軽減・解消する
ことができ、自分の子育てに
安心感や自信をもつことが
できます。
グループの人数は誰もが
話せるよう7人程度とし、
進行役をおくとよいでしょう。

メニュー

MENU

に戻る

- 講演会型
- 井戸端会議(フリートーク)型
- **体験学習型**
- シンポジウム型
- ワークショップ型



活動の目的に従い、実際に身体を動かしたり、物をつくったりする活動をおこなうのが「**体験学習型**」です。楽しみだけで終わることなく、家庭教育に関する講話や情報交換を取り入れ、学びにつなげましょう。また父親の参加を促すなど、家庭でのふれあいが深まり、その後の発展が期待されるような工夫をしましょう。

メニュー

MENU

に戻る

- 講演会型
- 井戸端会議(フリートーク)型
- 体験学習型
- シンポジウム型
- ワークショップ型



2人またはそれ以上の人が同一の問題の異なった面をあらわすように講演し、おのおのが意見を述べ、聴衆または司会者が質問し、講演者がこれに答えるのが「**シンポジウム型**」です。講演がメインとなっていること、講演者同士よりも、講演者と聴衆との質疑応答に重点が置かれています。

メニュー

MENU

に戻る

- 講演会型
- 井戸端会議(フリートーク)型
- 体験学習型
- シンポジウム型
- **ワークショップ型**



一定のテーマについて、
一方的に話を聞くだけではなく
手と頭を動かして、
会場みんなで学ぶのが
「**ワークショップ型**」です。
参加者の体験談や意見を
引き出すため、進め方
についての細かいプログラムや
指示が用意されることも
あります。

メニュー

MENU

に戻る

● 系統立ったプログラムについて

テーマを設定し、1年間の計画を作成するのは大変な作業です。受講者にあった学びやテーマをどのように考えればよいのでしょうか。また、学びを広げたり深めたりするには、どのようにプログラムを企画し、構成すればよいのでしょうか。水戸市の内原小学校での実践をもとに考えてみましょう。



メニュー

MENU

に戻る



● 家庭教育学級委員の声

● 公民館担当者の声



内原小学校の家庭教育学級委員をつとめたお二人の声を紹介します。

メニュー

MENU

に戻る

学びの現場から

公民館担当者の声

- 家庭教育学級委員の声
- 公民館担当者の声



水戸市内原地区の
家庭教育学級を支援している
内原公民館の佐藤比呂美さん
の声をご紹介します。

メニュー

MENU

に戻る

● 学びのためのお役立ちリンク集

URLやタイトルをクリックするとブラウザが開き各ページへ移動します。
(ご利用にはインターネット環境が必要です)

家庭教育に関連する資料

- 家庭教育ブックひよこ(3歳～5歳の子の保護者向け)
- 家庭教育ブック(就学前～小学校4年生の児童の保護者向け)
- 家庭教育ブックつばさ(小学校4年生～小学校6年生の児童の保護者向け)
<http://www.edu.pref.ibaraki.jp/board/syogai/katei/book.html#download>
- 「映像でナットク! 家庭教育学級 親の学びナビ」ダウンロード
- 平成23年度(PDF形式 4,186KB) [家庭教育学級「親の学びナビ」](#)
- 平成22年度(PDF形式 21,168KB) [家庭教育ブックを活用した「親の学びプログラム」の開発と検証について「家庭教育ブックを活用した親の学び講座」実践事例集](#)
- 平成21年度 (PDF形式 23,102KB) [家庭教育ブックを活用した「親の学びプログラム」の開発と検証について「家庭教育ブックを活用した親の学び講座」実践事例集](#)
- 平成20年度 (PDF形式 29,974KB)
[現代的な課題に関する学習機会の提供について「モデルとなる家庭教育学級講座」実践事例集3](#)
- 平成19年度 (PDF形式 20,577KB)
[現代的な課題に関する学習機会の提供について「モデルとなる家庭教育学級講座」実践事例集2](#)
- 平成18年度 (PDF形式 22,147KB)
[現代的な課題に関する学習機会の提供について「モデルとなる家庭教育学級講座」実践事例集1](#)

青少年施設 ● [茨城県中央青年の家](#) ● [茨城県白浜少年自然の家](#) ● [茨城県立さしま少年自然の家](#)

● [いばらき子どもいきいき自然フィールド100選](#)

お問い合わせ先

- [水戸生涯学習センター](#)
- [県北生涯学習センター](#)
- [鹿行生涯学習センター](#)
- [県南生涯学習センター](#)
- [県西生涯学習センター](#)

メニュー

MENU

に戻る

● 平成24年度 学習プログラム実践事業

1. 事業の目的

平成23年度に学習プログラム開発事業で作成した「今日的な家庭教育学級プログラム」を実践する。

2. 研究テーマ 今日の『家庭教育学級プログラム』の実践

3. 組織

役職	氏名	所属・職名
委員長	坂井 知志	常磐大学 教授
委員	吉川 刀夫	茨城県視聴覚教育振興会 会長
	佐藤 比呂美	水戸市内原中央公民館 社会教育主事
	常井 裕二	笠間市教育委員会生涯学習課 社会教育主事
	大貫 千尋	ひたちなか市田彦公民館 社会教育指導員
	仲野 朝美	久慈郡大子町立生瀬中学校 校長
	横須賀 聡子	NPO法人水戸こどもの劇場 副代表理事
	山崎 一希	放送ディレクター
	永山 邦子	茨城県県北生涯学習センター 事業グループリーダー
	根本 重巳	茨城県鹿行生涯学習センター 社会教育主事
	黒崎 希望	茨城県県南生涯学習センター 社会教育推進員
	船橋 侑太	茨城県県西生涯学習センター 事業担当
	平塚 寿夫	茨城県水戸生涯学習センター 企画振興課長
	田山 善堂	茨城県水戸生涯学習センター 社会教育主事

メニュー

MENU

に戻る

平成24年度 学習プログラム実践事業『家庭教育学級 親の学びナビ』

平成25年3月発行 編集・発行 茨城県水戸生涯学習センター
〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38
TEL 029-228-1313 FAX 029-228-1633



コピーOK 障害者OK 学校教育OK

利用の際は必ず下記サイトを確認下さい。

www.bunka.go.jp/jiyuriyo

メニュー

MENU

に戻る